

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-163	20-009	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳) Epidemiology of Alcohol Misuse and Illicit Drug Use Among Young People Aged 15-24 Years in Fishing Communities in Uganda ウガンダ漁業コミュニティの 15-24 歳の若者におけるアルコール誤用と違法薬物使用に関する疫学		
執筆者 Kuteesa MO, Weiss HA, Cook S, Seeley J, Ssentongo JN, Kizindo R, et al.		
掲載誌 Int J Environ Res Public Health. 2020 Apr 1;17(7):2401. doi: 10.3390/ijerph17072401.		
キーワード	PMID	
アルコール、薬物使用、漁民、青年、サハラ以南のアフリカ	32244722	
要 旨 目的： ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染の重要な集団である漁業コミュニティの若いウガンダ人において、アルコール誤用と違法薬物使用率及びそれらの危険因子を特定する。 方法： 2017 年 12 月-2018 年 7 月に実施した横断調査の参加者、Koome 島の漁業コミュニティにおける 15-24 歳の若者 1281 人 (男性 52.7%) を分析対象とした。Audio-Assisted Self-Interviewing を使用し、社会人口統計学的特性とアルコール使用障害識別テスト (AUDIT) や timeline follow-back calendar (TLFB) を含む飲酒に関するデータを収集した。血液検体から単純ヘルペスウイルス 2 (HSV2) と、慢性的な大量飲酒を検出する指標ホスファチジルエタノール (PEth 16:0/18:1)、尿検体から違法薬物使用について分析した。単変量および多変量分析により、アルコール誤用 (AUDIT ≥8、PEth ≥20ng/ mL、Peth ≥210ng/ mL、TLFB により評価した暴飲 [前月の機会飲酒時の飲酒量が 6 標準飲酒以上])、および違法薬物使用に関連する要因を特定した。 結果： 659 人 (51.4%) が飲酒経験を報告し、248 人 (19.4%) は有害な飲酒を示す 12 か月の AUDIT ≥8 であり、261 人 (20.5%) は全血 PEth 16 : 0/18 : 1 濃度が 20 ng /mL 以上とかなりのアルコールの消費を示した。多変量解析では、PEth 16 : 0/18 : 1 ≥20ng /mL、AUDIT ≥8、及び TLFB に基づく暴飲は、高齢、低学歴、喫煙、及び HSV2 と強く関連した。違法薬物の使用率は 5.2% であり、高齢、低学歴、独身、喫煙に関連した。 結論： アルコール誤用のレベルは、漁業コミュニティの若者で高く、危険な性行動の代替指標である HSV2 に関連した。ウガンダでのアルコールと違法薬物のハームリダクションサービスと HIV 予防プログラムは、若い漁民を優先する必要がある。		